

A woman with long dark hair, wearing a blue sleeveless top and a long, flowing blue skirt, stands in a field of white, flowing fabric that resembles sand dunes or large sheets of fabric. She is looking upwards and to the right. The background is a clear blue sky with some light clouds.

感動できる人生を、
いっしょに。

ソニーフィナンシャルグループ株式会社
第22回定時株主総会

2026年6月25日

目次

1 ソニーFGの概要

2 これまでの振り返り

- 2025年度業績（IFRSベース）
- 生命保険事業、損害保険事業、銀行事業

3 今後の取組み

- 2026年度見通し（IFRSベース）
- 次期中期経営計画に向けて
- 財務領域での取組み

4 株主還元方針

5 ソニー生命における調査の状況

ソニーFGの概要 | ソニーがつくった金融グループ

始まりは、「ソニーに金融機関を持ちたい」というソニー創業者の夢

エレクトロニクスの
「ソニー」がなぜ、金融？



盛田昭夫氏、
トランジスタラジオの
ビジネス展開に向けて渡米

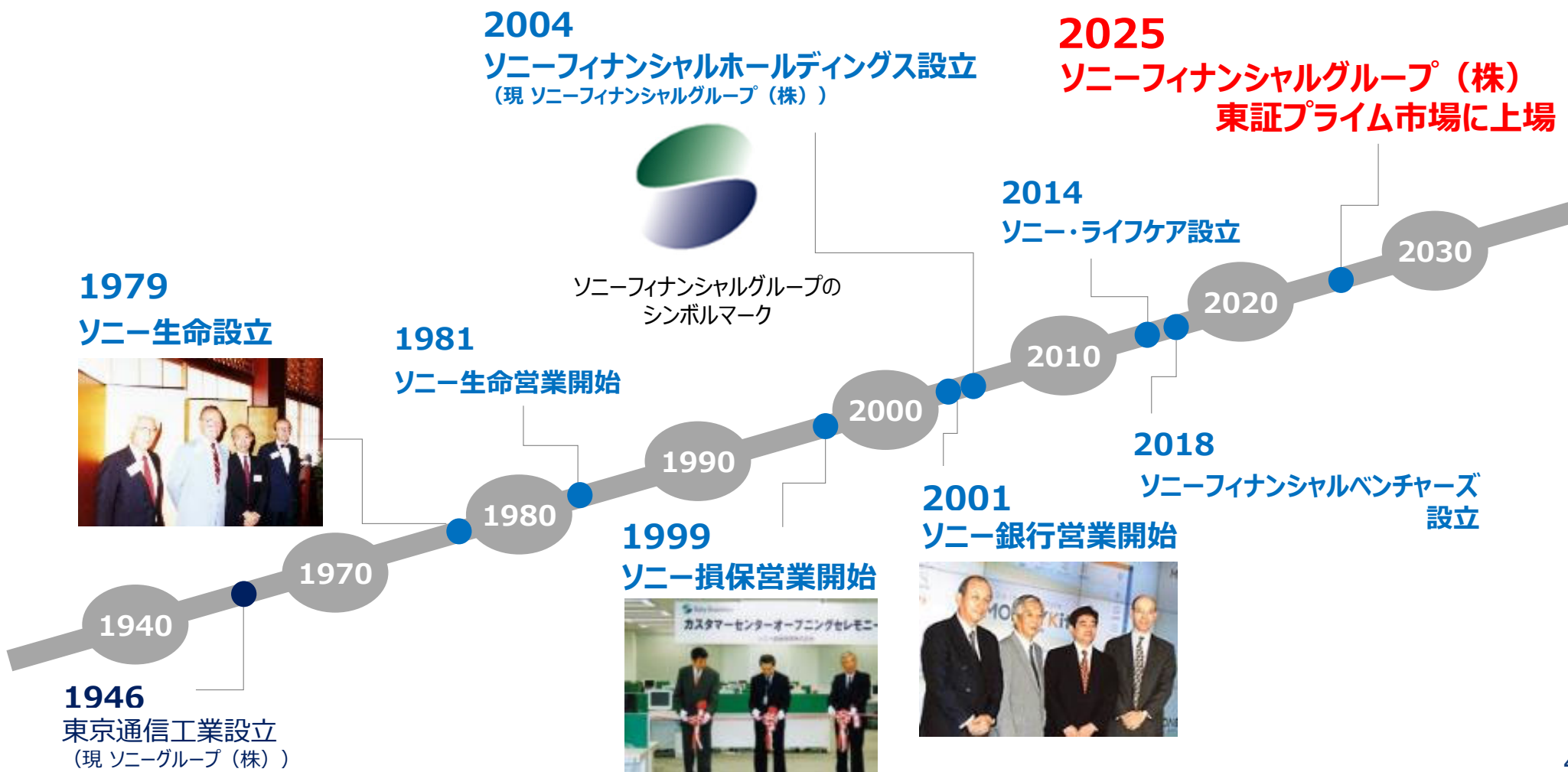


「人のやらないことをやる」
～ソニースピリット～

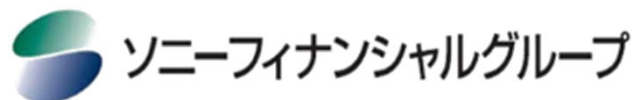


ソニー創業者の盛田昭夫氏（左）と井深大氏（右）

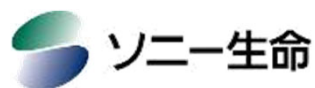
ソニーFGの概要 | ソニーFGの歩み



ソニーFGの概要 | 企業構成図



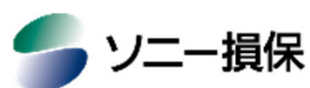
生命保険



ライフプランナーによる質の高い
コンサルティングが強み
ファミリー層・小規模法人に
顧客基盤を有する



損害保険



自動車保険や火災保険などを
提供するダイレクト保険会社
ダイレクト自動車保険で
シェアNo.1^{*1}



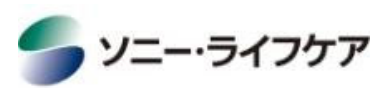
銀行



外貨預金や住宅ローンを中心に、
質と利便性の高い金融商品・
サービスを提供



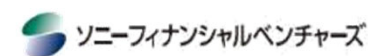
介護



“Life Focus”のコンセプトのもと、
お客さま一人ひとりの
その方らしい生活を第一に考える
介護サービスを提供



ベンチャーキャピタル



フィンテックやweb3などに
強みを持つベンチャー企業への
投資を通じ、新たな事業を追求

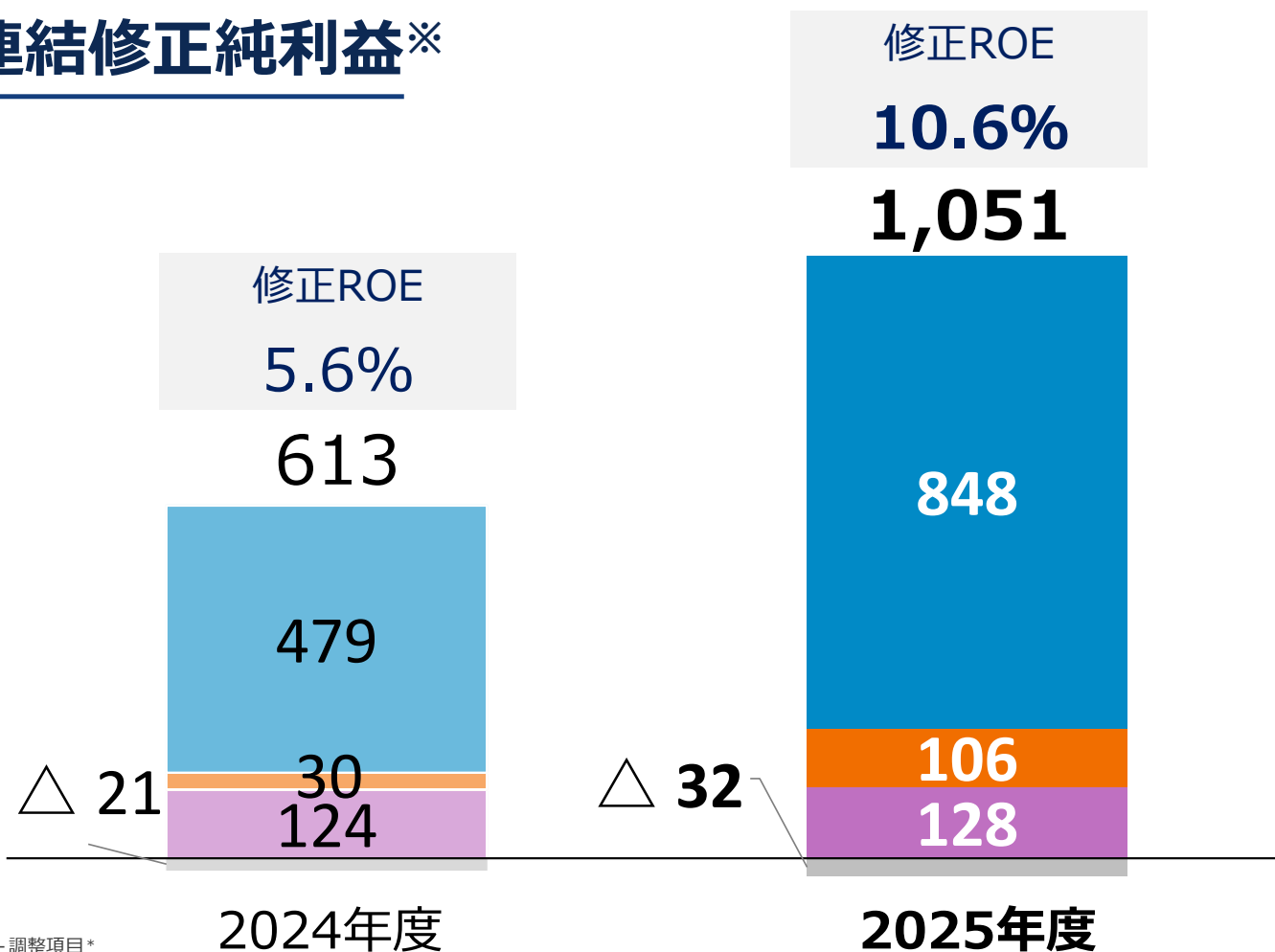
^{*1}：自動車保険を主にダイレクト販売している損害保険会社が公表している2024年度までの元受正味保険料より算出

これまでの振返り | 2025年度業績（IFRSベース）

グループ[△]連結修正純利益※

（億円）

- 生命保険事業
- 損害保険事業
- 銀行事業
- その他



※修正純利益（IFRS）：当期純利益－調整項目*

* 調整項目（すべて税引後）ソニー生命(株)：①投資損益のうち変額保険関連損益・為替差額（除くヘッジコスト相当分等）、②保険金融損益のうち変額保険関連損益・為替差額、③有価証券の売却損益、④その他一過性の損益
ソニーフィナンシャルグループ(株)、ソニー損保(株)、ソニー銀行(株)、その他子会社：一過性の損益

生命保険事業 | ソニー生命の概要

コンサルティングを通じ、お客さま一人ひとりに合ったオーダーメイドの保障を提供

お客さまの
「想いを訊く」ビジネス



販売チャネル



*1: 2026年6月25日現在

主な取扱商品

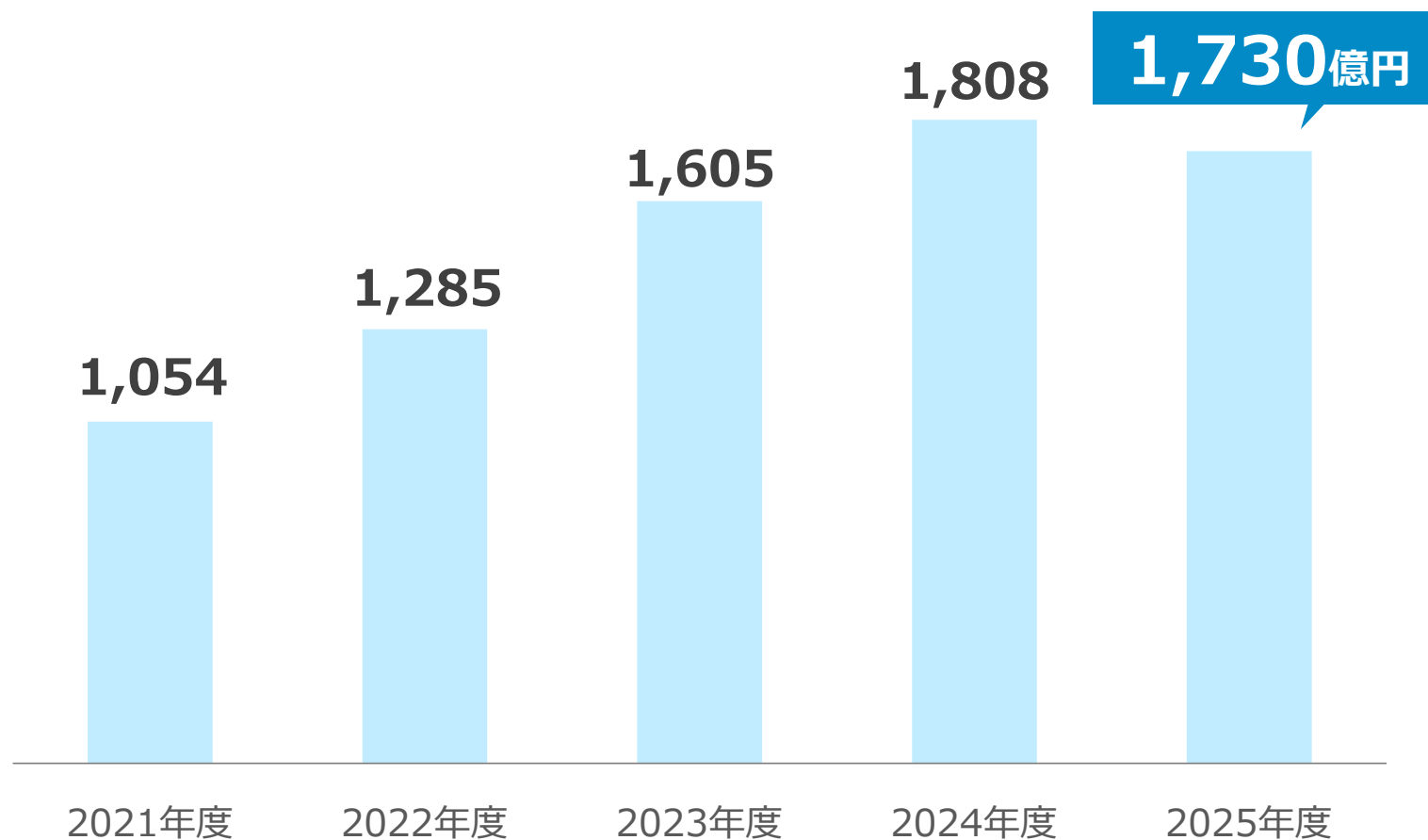
死亡保障
（終身保険・定期保険・米ドル建保険・変額保険）

個人年金保険、生前給付保険、医療保険、
学資保険、年金保険、法人向け保険

生命保険事業 | ソニー生命の実績

新契約年換算保険料の推移

(億円)



損害保険事業 | ソニー損保の概要

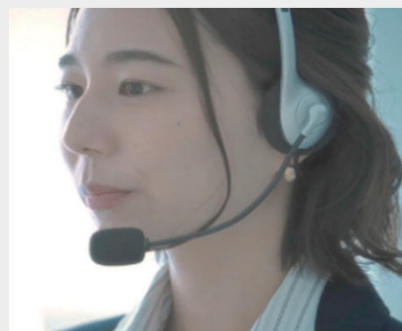
ソニー損保の強み

ソニーブランドを活かした 高い認知度



お客さまから支持される 高いサービス品質

お客さまに寄り添う力



テクノロジーの力

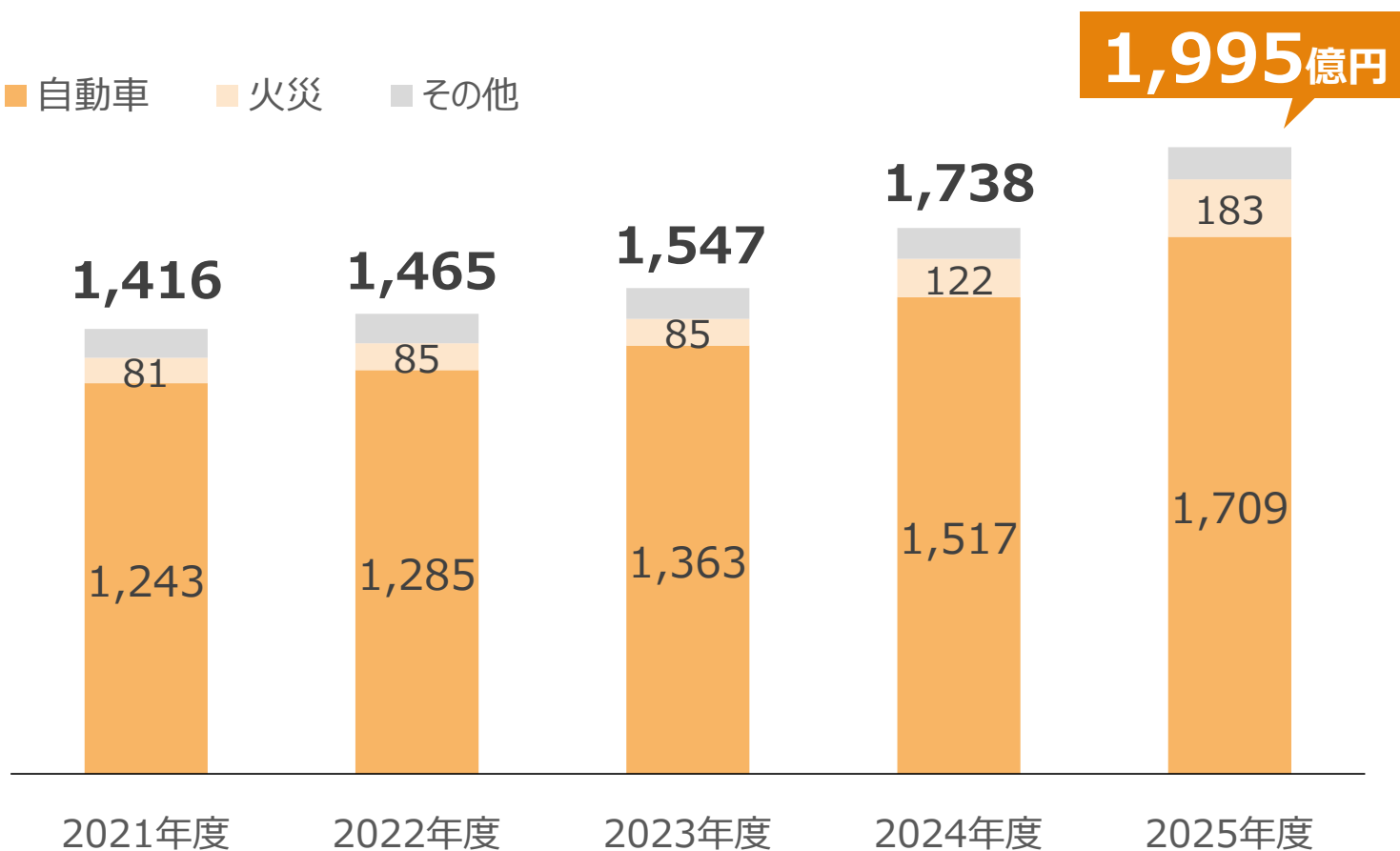


損害保険事業 | ソニー損保の実績

元受正味保険料の推移（日本会計基準）

（億円）

■ 自動車 ■ 火災 ■ その他



銀行事業 | ソニー銀行の概要

ソニー銀行の強み

利便性の高い金融商品・サービス

- ライフステージの変化に応じて見直しができる
住宅ローン
- 「貯める・送る・使う」まで
あらゆる利用シーンに対応した
外貨預金
- 貯めた外貨を「外貨のまま」海外で使える
11通貨対応のVisaデビット付きキャッシュカード
"Sony Bank WALLET"



Sony Bank WALLET とキャッシュカードに
「PEANUTS」デザインを採用しています



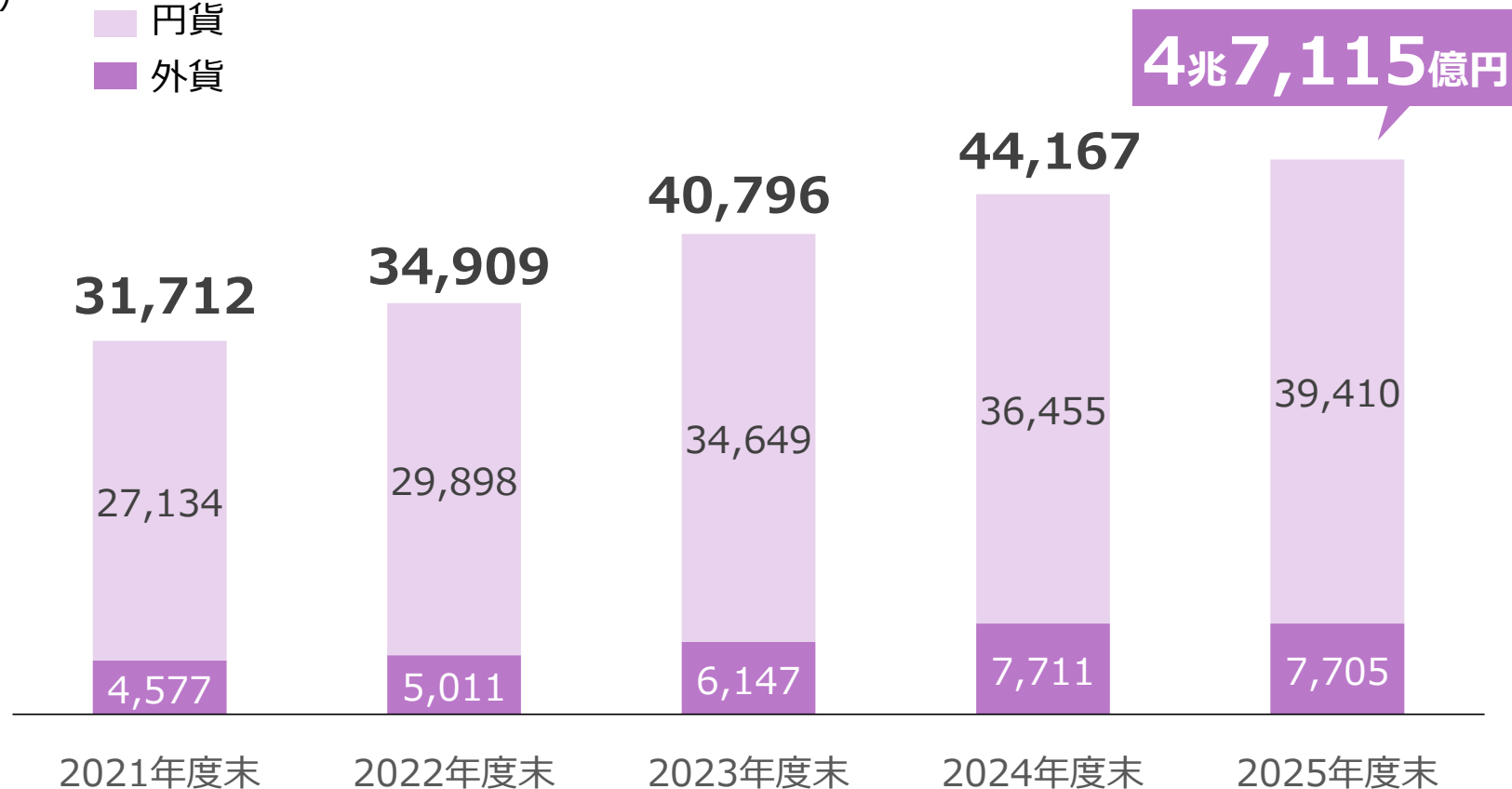
© 2026 Peanuts Worldwide LLC

銀行事業 | ソニー銀行の実績

預金残高の推移

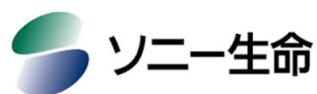
(億円)

円貨
外貨



これまでの振返り | 高い顧客満足度

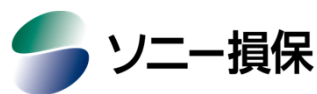
独自のビジネスモデルを通じ、顧客基盤の拡大と顧客満足度の向上を実現



2025年 NTTコムオンライン^{*1}
NPS[®]^{*2}ベンチマーク調査

生命保険部門など^{*3}

4冠達成



2026年 オリコン顧客満足度[®]調査

自動車保険 ダイレクト型

9年連続^{*4}

総合第1位



2025年 オリコン顧客満足度[®]調査

外貨預金

6年連続

総合第1位

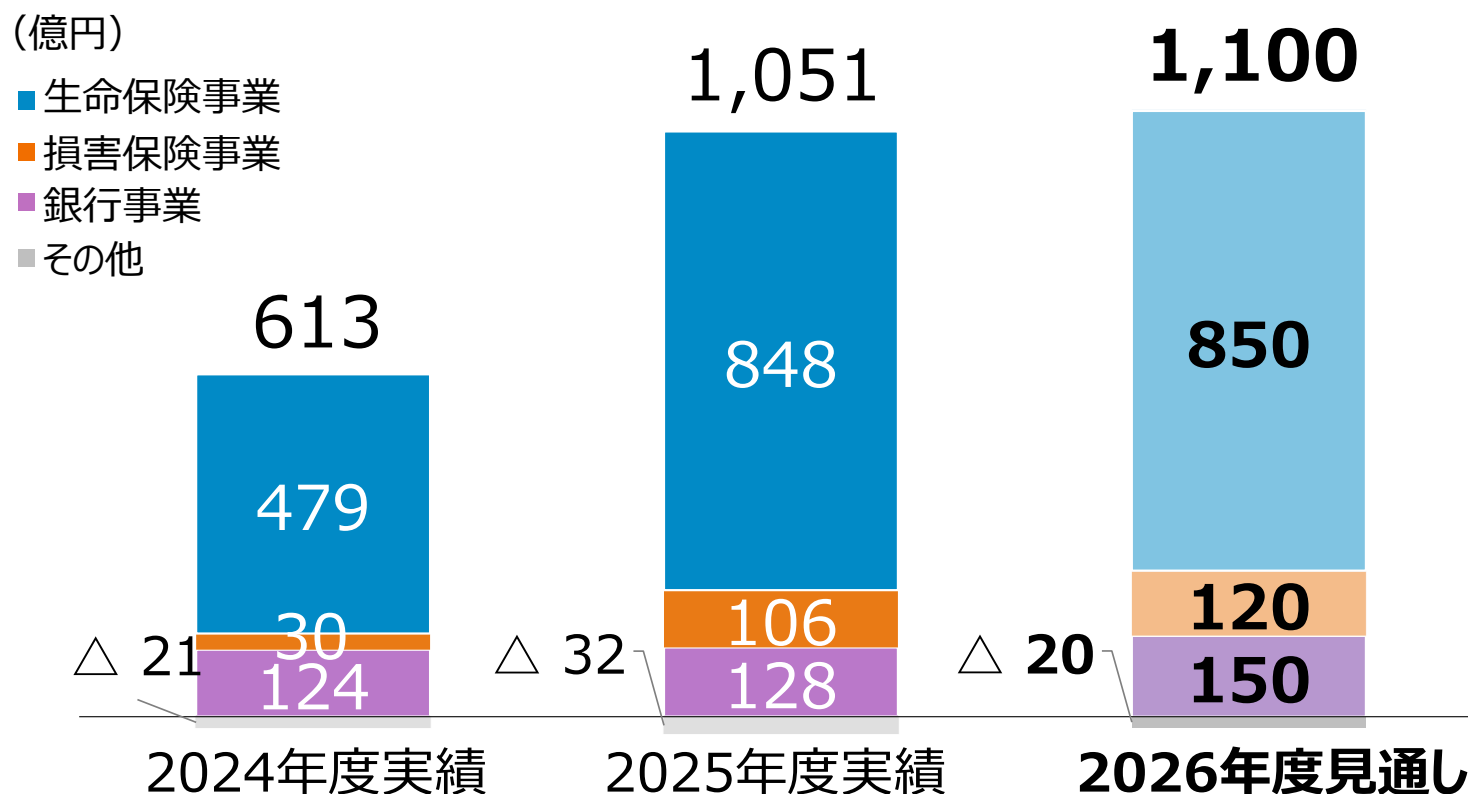
^{*1}：出典元はNTTドコモビジネスX株式会社（旧 NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社） ^{*2}：NPS[®]は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズ（現NICE Systems, Inc）の登録商標です。

^{*3}：生命保険部門（担当者の提案力やコンサルティング力）、生命保険部門 請求体験調査（担当者との信頼関係）、生命保険部門 アフターフォロー調査（担当者や本社による複線的なフォロー）、生命保険部門 コンタクトセンター調査（問題解決までの迅速・丁寧な対応）の4つの項目で第1位を獲得。生命保険部門 アフターフォロー調査は4年連続、生命保険部門 請求体験調査は2年連続の獲得。

^{*4}：2018年～2023年は「自動車保険」、2024年～2026年は「自動車保険 ダイレクト型」における総合1位として受賞

今後の取組み | 2026年度見通し（IFRSベース）

グループ連結修正純利益※
1,100億円（2026年度）

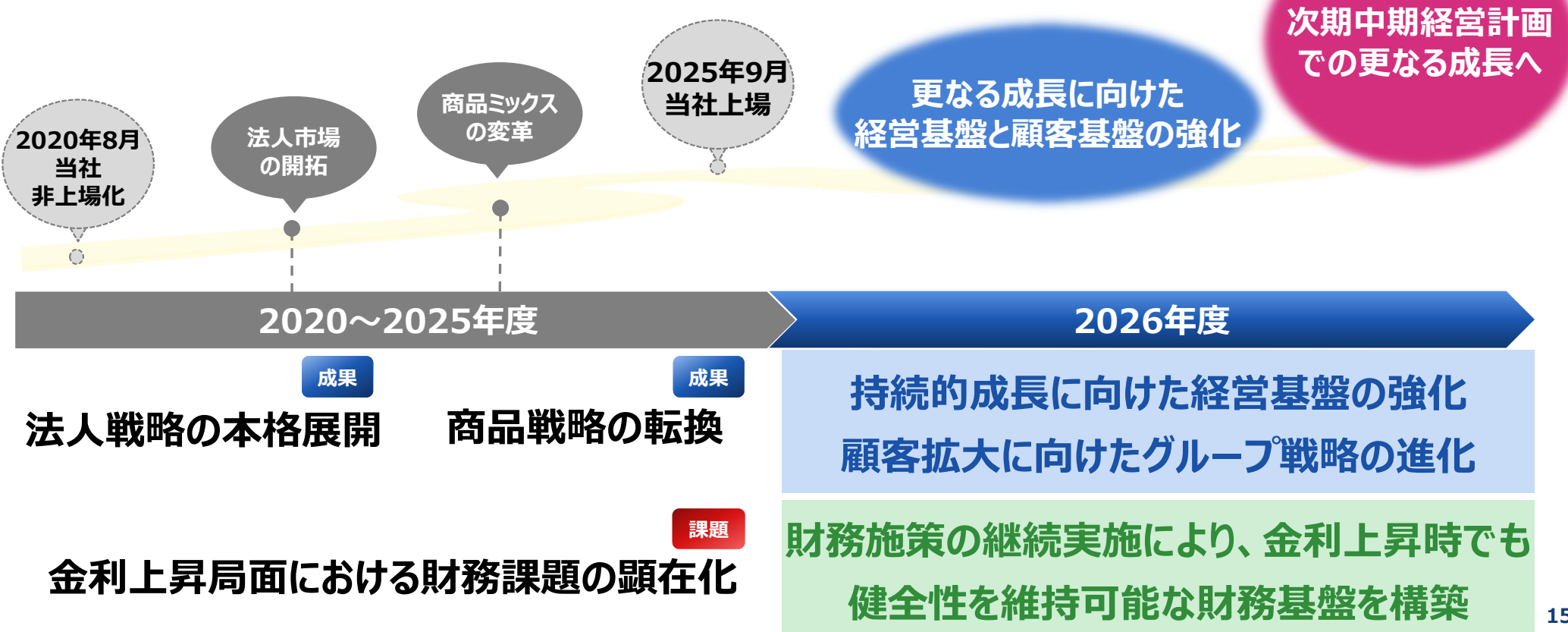


※修正純利益（IFRS）：当期純利益－調整項目*

* 調整項目（すべて税引後）ソニー生命(株)：①投資損益のうち変額保険関連損益・為替差額（除くヘッジコスト相当分等）、②保険金融損益のうち変額保険関連損益・為替差額、③有価証券の売却損益、④その他一過性の損益
ソニーフィナンシャルグループ(株)、ソニー損保(株)、ソニー銀行(株)、その他子会社：一過性の損益

今後の取組み | 2026年度の重点テーマ

次期中期経営計画（2027年度～）に向けて、成長の土台を固めるべく、経営基盤の強化と顧客拡大に向けたグループ戦略の進化に取り組む



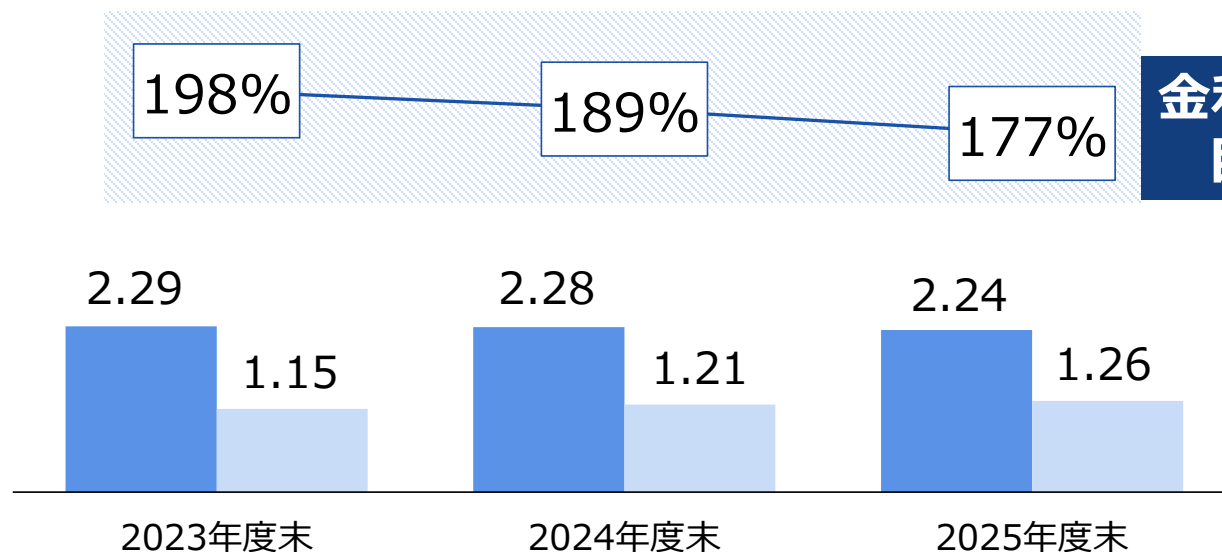
今後の取組み | 財務領域での取組み

グループ連結ESR（経済価値ベースのソルベンシー比率）の推移

215%
目標水準上限

165%
目標水準下限
(兆円)

■ : 経済価値資本 ■ : 経済価値税引後リスク量 □ : ESR



金利上昇局面においても
目標レンジ内で推移

【40年日本国債金利(複利)推移】



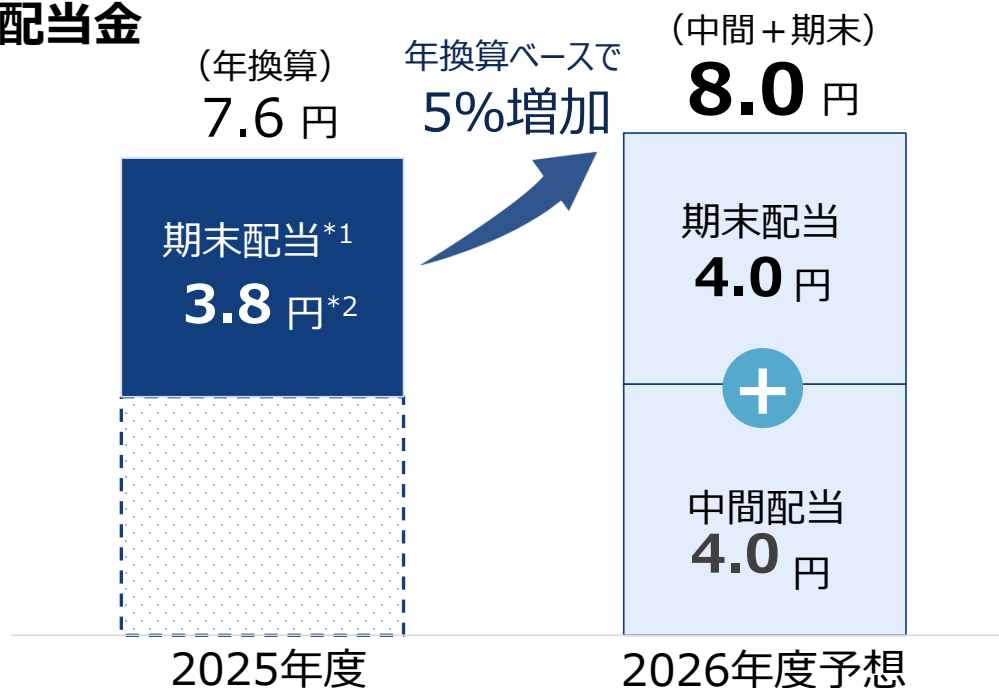
足元で金利が上昇

株主還元

株主還元の基本方針

- 配当を最優先
- 1株当たり年間配当額の減額は原則行わず、安定的な配当の成長を目指す
- 修正純利益 × 配当性向40～50%を目安とする

1 株当たり配当金



【2025年度 自己株式取得実績】

698 億円 / 1,000 億円*

資本水準と成長投資の
バランスを考慮し
自己株式取得を実行する方針

*1：パーシャル・スピンオフは2025年10月1日効力発生のため、FY25は半期分の支払い。効力発生日は2026年6月4日 *2：配当総額は256億円

*3：2025年8月8日開催の取締役会において、取得し得る株式の総数を10億株（上限）、株式の取得価額の総額を1,000億円（上限）、取得期間を2025年9月29日～2026年8月8日、取得方法を①東京証券取引所における取引一任契約に基づく市場買付及び②自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付として自己株式の取得枠を設定することを決議。投資機会や市場環境等により、上記の自己株式取得の一部又は全部が行われない可能性もあります

ソニー生命における調査の状況

- 約280万人を対象としたお客さま確認を4月末より開始、
2026年11月末を目途に完了予定
- 2026年9月中旬を目途に、ソニー生命より、
進捗を公表予定

最後に

Our Vision

感動できる人生を、
いっしょに。

Our Foundation

感動できる人生を支える3つの寿命

経済的な健全性

資産寿命

自分らしく生きる

感動寿命

生きる土台

健康寿命

